



## 目次

新年のご挨拶	1
看護部だより「フットケア外来の取り組み」	2
職場紹介「栄養管理室」	3
ア・ラ・カルト「国立病院総合医学会に参加して」	4
お国自慢	5
医療安全管理室より	6
お知らせ「院内講演会」「作品展示会」患者数	6
外来医師担当表・特殊外来ご案内・看護職員採用について	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会  
国立病院機構  
発行責任者：長沼博文  
住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35  
電話：055-253-6131  
ファックス：055-251-5597  
ホームページ：<http://www.kofu-hospital.jp/>  
Eメール：[kofu@kofu.hosp.go.jp](mailto:kofu@kofu.hosp.go.jp)  
携帯サイト用QRコード



### 「竜ヶ岳から富士を臨む」

12月25日、本栖湖畔のキャンプ場駐車場から竜ヶ岳（1,485m）山頂を目指し、登山道からの1枚です。この頃から竜ヶ岳ではダイヤモンド富士が見られ、この日も多くのカメラマンと出会いました。

（写真・記事 企画課 福島 保彦）



独立行政法人国立病院機構  
甲府病院の理念

#### 理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

#### 基本方針

- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします

病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します



## 「新年のご挨拶」



病院長 長沼 博文

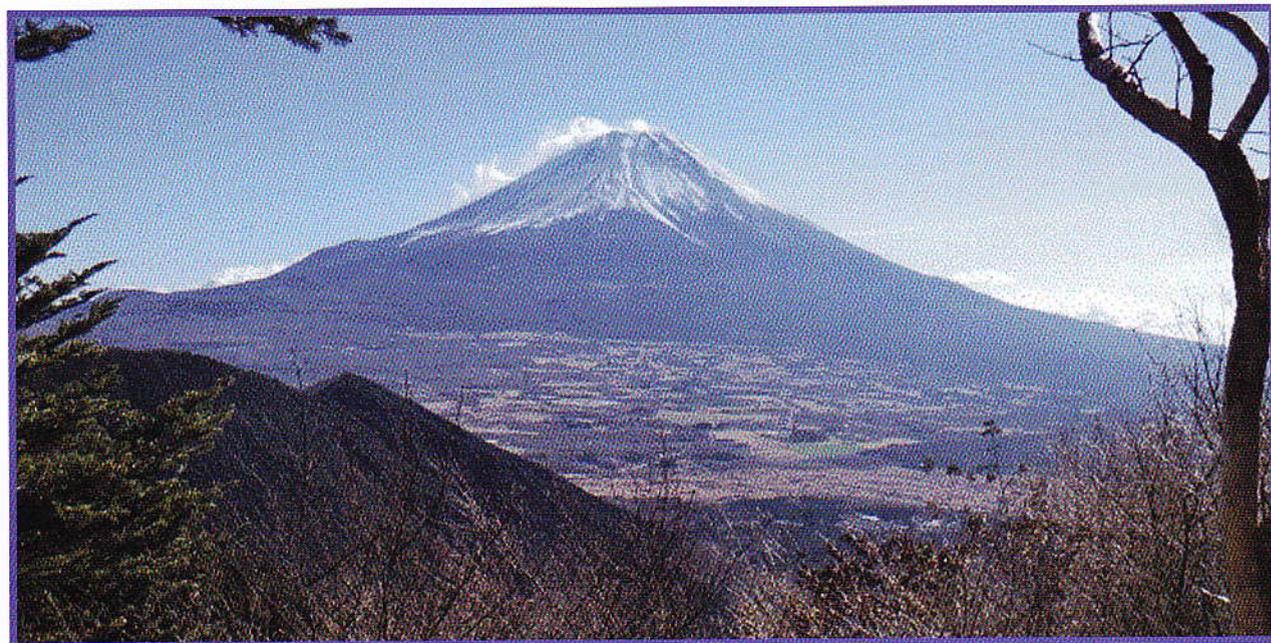
平成 23 年となりましたが、日本の医療及び山梨県の医療の問題点の解決はまだまだこれからという感じです。

数年前からマスコミで「地域医療の崩壊」が報道され、未だに改善されていない状況です。これは医師不足から来ているのは間違いが無い事実だと思います。しかし、厚生労働省の統計を見ると、病院に勤務する医師数は年々増加しています。「地方の病院から首都圏の病院に移ったのでは」という指摘がありますが、これも都道府県ごとの人口 10 万人当たりの医療施設に従事する医師数を比較すると、医師数の偏在は縮小の傾向という結果が出ています。山梨県の状況はどうかと言うと、当院を含め山梨県の周辺地域の病院の医師数が減っているのは明らかで、それに伴い診療の制限も行なっているのも事実です。これは、山梨県内では地域の格差が生じているということが現実のようです。

もう一つの問題は、社会保障費の問題です。今後も社会保障費は増加して行くと思いますが、財源をどうするかという問題は政治的な解決が必要

になります。医療費は、診療報酬の改定に関係なく、年に 3 % 程度「自然」に増えるとされています。この自然増の半分は高齢化により、残り半分は技術の進歩によるとされています。政府は、消費税を増やして社会保障費にあてる方向で検討に入っているようですが、どうなるでしょうか。

今後の病院の動向を考えると、山梨県でも「病院の統合再編」、「医療機能の分担」が key word になりそうです。長期的に見れば、ある程度病院間で診療機能を分担して行く方向が良いのではないかと考えています。当院は、高度周産期医療センター、重症心身障害医療、救急医療（2 次輪番；一般及び小児）の役割をこれまでどおり果たして行きます。また、診療科別では、整形外科でスポーツ膝疾患に対する内視鏡手術、外科では消化器系癌に対する手術（最近では大腸癌に対する腹腔鏡手術）、産婦人科では婦人科疾患に力を入れているところです。又、地域に根ざした一般医療（眼科では白内障、内科では糖尿病、内分泌代謝疾患、消化器系疾患、循環器系疾患など）も担って行きます。



# 看護部だより

## 「フットケア外来の取り組み」

副看護部長 白川 由起子

当院の糖尿病外来は日常生活における食事・運動療法の指導を積極的に行っています。食事療法は、集団指導と患者さん個々の生活、食習慣に合わせた具体的な指導を行ない、年に2回、糖尿病食事会を開催し、患者さんが食生活を振り返る機会となっています。

外来看護師は、運動療法に欠かせない足の手入れ（フットケア）に力を入れ、ご自身での管理が出来るよう指導を行っています。今回はその取り組みを紹介したいと思います。

糖尿病は血糖コントロール不良により合併症を引き起こすことが問題となります。特に眼、腎臓、足という細かい血管に障害を起こし、場合によって神経障害により足の異常に気づけず壊疽となり、その治療のため運動ができず、更に血糖コントロールを悪くしてしまう結果となります。当院では、平成21年10月から、運動療法を行う上で大切な足のケア（フットケア外来）を始めました。

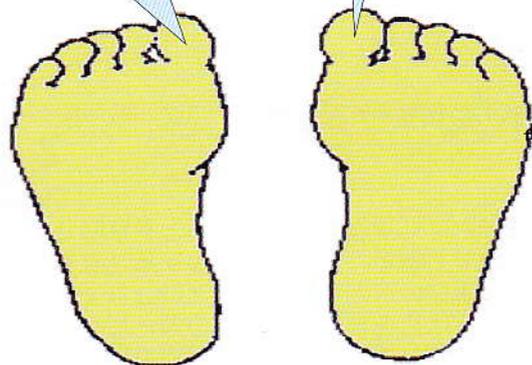
対象は糖尿病と診断されている患者さんで、医師の指示があった方に対して行います。フットケアに関する専門の研修を受けた看護師が実際にケアを行いながら指導をしています。足の観察（皮膚、爪、神経障害・循環障害の有無）を行い、爪の切り方、靴の選び方、必要によっては、タコやウオノメの処置を行います。患者さんご自身の毎日の生活の中で、観察や対処が出来るよう指導を行っています。

糖尿病の方に限らず、足は楽しい人生を送るための大切なものです。いつまでも健康な足で生活出来るように、ご自身のフットケアを見直してください。

ご相談があれば、外来1階スタッフステーションでお尋ね下さい。

「タコ」・「ウオノメ」はありますか？  
爪の肥厚はありますか？

足が冷たい  
足がしびれる  
足の色が良くない



〈現在はグライダーを使用し、肥厚した角質を安全に痛み感じさせずに除去しています〉



## 職場紹介

### 「栄養管理室」

主任栄養士 青野 千里



こんにちは。突然ですが、栄養管理室・・病院のどこにあるかご存じですか？

実は、普段皆さまの目に触れることのない地下1階に栄養管理室と調理室は存在しています。

ここで、モグラのように地下に潜んでいる栄養管理室メンバーを紹介。。。

栄養管理室は、管理栄養士4名・調理師5名・事務職員1名・委託職員23名で日々、入院患者さんのお食事提供を行っています。当院の自慢は調理師さんの腕の良さです。仕事がとっても丁寧なんです！



当院で出産された方には「お祝い膳」を提供。また、お食事に制限のない方には朝食・昼食は2種類、夕食は3種類からお選びいただける特別メニューを毎日実施しております。病院食は「冷たい！」というイメージがあるかとは思いますが、当院では温冷配膳車を採用しており、「温かいものは温かく・冷たいものは冷たい」状態で患者さまにお届けしております。

入院中のお食事は楽しみの部分が大きいですので少しでも患者さんに喜ばれるメニュー作りをしていけたらと思っています。



前回の平成22年10月は中華でした！

また、外来・入院ともに栄養相談・指導を実施。さらに年に2回、2月と10月の第4金曜日に外来糖尿病教室にてお食事会を実施しております。皆さんと楽しく食事をしながら糖尿病の勉強をしていますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。なお、平成23年2月のお食事会は25日(金)開催を予定しております。栄養管理室一同、お待ちしております。



栄養管理室



## 2月のトピックス ～2月3日節分～

節分とは「季節をわける」ことを意味し、立春・立夏・立秋・立冬それぞれの前日をさします。なかでも新年の始まりに相当する「立春」の前日にあたる節分がもっとも重要視されたため現在の形として残ったといわれています。

節分には豆をまき、イワシの頭とヒイラギを戸口へさしたりします。最近流行りの恵方巻は恵方(吉方位)を向き太巻きを丸かじりするという関西発祥の行事です。ちなみに今年の恵方は**南南東**！



# アラカルト

## 「第64回国立病院総合医学学会に参加して」

昨年11月26日・27日の2日間、福岡市において「第64回国立病院総合医学学会」が行われ、当院からも多数の職員が演題発表を行いました（別表参照）。今回は学会に参加し、発表した職員から、その様子を報告していただきました。

### 「DPCで使用される傷病名に付与される詳細不明コード発生率の抑制への取り組み」

事務部企画課 福島 保彦

私は、福岡市で開催された学会に参加させていただき、27日にDPC部門の中で口演発表を行いました。発表内容は、21年7月にDPCに関する情報交換を目的として発足した関東信越ブロック勉強会で取り組んできた課題の一つです。

発表ギリギリまで資料の変更と発表原稿の打合せ・リハーサルが行われ、何とか間に合った（間に合わせた？）というのが一番の印象でした。発表は4分程度と短い時間ではありましたが、とても緊張しました。

学会では、様々なセッションに別れてそれぞれに発表が行われます。今回は、発表準備のために他の発表の聴講にあまり参加できませんでしたが、次回機会があればできるだけ多くの聴講をしたいと思えます。



### 初めて国立病院総合医学学会に参加して

7病棟 坂本千春、千頭和ひとみ

昨年11月福岡で開催された国立病院総合医学学会に参加しました。甲府から羽田空港を経て福岡へと楽しい空の旅…とはいっても看護研究発表という大役を担っての移動だったこと、何十年ぶりに飛行機に乗るといふこともあり、とても緊張した旅でした。

会場のポスターはカラフルで、驚きました。重症心身障害病棟関係の研究は肺ケア、ポジショニング、口腔ケアなどがあり、石川県金沢市にある医王病院が発表した「重症心身障害児（者）のオムツの当て方の検討～スタッフのオムツの当て方に対する意識の向上を目指して～」に対しての質問が多く飛び交い、どこの病院でも同じことに悩み、工夫していることが分かりました。私達は「重症心身障害児（者）の同じ部位の発赤、褥瘡を繰り返している患者の体圧管理の見直し」について発表しました。3分間の発表はあっという間で、緊張なのか年のせいなのか、ポスターの文字が見えなくてちょっとショックを受けたことだけが鮮明に思い出されます。

業務をしながら研究をすることは大変ですが、良い経験になると感じました。最後に、研究は一人でやれるものではありません。研究メンバー、病棟スタッフの協力がなければできないことだと再認識した学会でした。



発表を行った田之上師長（左）坂本看護師（右上）千頭和看護師（右下）

### 第64回国立病院総合医学学会・演者一覧

職名	氏名	演題
看護師	田中めぐみ	手術室スタッフの術前訪問に対する意識の変化 ＜「麻酔用パンフレット」を作成・活用して＞
看護師長	小宮山 明美	
看護師	北守 菜穂子	腰椎麻酔による頭痛出現の現状調査
看護師	井上 由佳	
看護師長	小松崎 知子	院内教育プログラムのあり方を検討する
看護師長	新岡 由佳子	＜教育・学習ニードアセスメント ツールを使用して＞
看護師長	大宮 茂美	
看護師長	田之上 久美子	同一部位の発赤・褥瘡を繰り返している患者の体圧管理の見直し
看護師	坂本 千春	＜簡易測定器を使用して＞
看護師	千頭和ひとみ	
医事専門職	福島 保彦	DPCで使用される傷病名に付与される 詳細不明コード発生率抑制への取り組み
診療情報管理士	原 明日香	
重心部長	内田 則彦	
主任保育士	高橋 明美	医療的ケアの高い方への療育活動
保育士	安達 梨乃	
児童指導員	刈込 沙織	
整形外科医長	落合 聡司	SF-36を用いた再建法の違いによる 前十字靭帯損傷術後成績の比較
臨床検査技師長	吉田 和浩	
臨床検査技師	斉木 克央	糖尿病患者年間検査計画の取り組み

（順不同・学会会場にて発表した職員のみ掲載）

## お 國 自 慢

医事係の 古川 翔太 と申します。  
私の故郷、岩手県を紹介させていただきます。  
とはいえ、山梨の皆様からみた場合、岩手県のイメージはとても稀薄なようです。  
私の同僚や上司に岩手県のイメージを聞いてみましたが、以下の通り、岩手県出身の私からしたら、さみしいものでした。

- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚A え〜と、わんこそば。
- ・そうです。有名です。おいしいです。次々とお代わりをお椀に放り込むお蕎麦屋さんの前は見事なものです。
  - ・たくさん食べるコツは、テンポ良く食べること。汁を飲み過ぎないこと。そして何より大切なのはお腹を空かせて行くことです。ぜひ、お試しください。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚B 確か、宮沢賢治。
- ・岩手を愛した作家にして詩人。
  - ・小説の中に度々登場する理想郷イーハトーブは岩手県のことです。私が特に好きな作品は、『グスコープリトの伝記』です。
  - ・私が子供の頃、主人公グスコープリトの生涯に感銘を受け、以来、理想の人間像であり目標とする人物の一人です。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚C 詩人の石川啄木…岩手だっけ。
- ・岩手出身の歌人にして詩人です。
  - ・学校で習った詩の一つ『我を愛する歌』はいまでも暗唱できます。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚C なまはげ、きりたんぽ。
- ・…それは秋田県。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚D 牛タン、笹かまぼこ、ずんだ餅。
- ・……それは宮城県。特に仙台市。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 同僚E 津軽海峡と襟裳岬。
- ・……………いい加減にしてください。

どうしても、この後が続きません。上司に聞いてみました。

- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 上司A 源義経終焉の地。
- ・そうです。平安から鎌倉の世を駆け抜けた天才武将。幼名はもちろん牛若丸。
  - ・平泉町の『衣川館』で悲劇的な最期を遂げています。今では、義経を奉った小さなお堂『義経堂』と、芭蕉が義経を偲び詠んだ句の石碑が静かに時代の流れを感じさせます。

〔義経堂〕



〔果花・桐〕

- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 上司B 源義経といえば弁慶、弁慶といえば立ち往生。ただし、勸進帳は今の石川県だったと思う。
- ・その通りです。主君義経を守り、同じく『衣川館』で見事な最期を遂げています。
- ◎質 問 岩手県といえば？。
- 上司C 南部鉄器。田舎に帰ると何十年も使っている丈夫な鉄瓶があるよ。
- ・郷土を代表する伝統工芸品です。薬品を使わずに炭を使って錆止めを施す伝統の技法はいまでも職人の手に引き継がれ生きています。黒一色の地味なメージがあるかもしれませんが、今ではカラフルなフライパンやシチュウパンもあります。一生物です。是非、手に取ってください。
- 山梨県と岩手県ではなかなか接点がありません。しかし私は、岩手県の良さを知ってもらいたいです。
- 北の果ての県と思われているようですが、電車を利用した場合、距離で約 660 km、時間にして約 5 時間で盛岡市に到着します。
- 小旅行をするには最適な所ではないでしょうか。

私のお薦めは、岩手県遠野市にある『かつば淵』です。

静かな小川が綺麗な水を湛え、かつては河童がたくさん住んでいたそうです。

近くのお寺にある狛犬はなんと河童の姿をしています。

ぜひ、一度遊びにきて下さい。

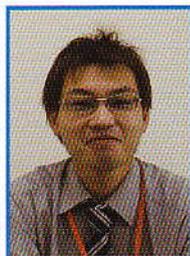
もしかしたら河童に出会えるかもしれません。

そしてとっておきの情報です。〔かつば淵〕地元のテレビ局が懸賞金を懸けています。河童を生け捕りにしたら 1 千万円！！。これはもうチャレンジするしかありません。

そしてもうひとつ。

『南部せんべい』です。これは有名ですね。せんべいとせんべいの間に水飴をはさんで食べて下さい。

私が子供の頃よく祖母が作ってくれました。素朴な滋味が感じられます。〔南部せんべい〕



最後に、私は普段病院の窓口にあります。患者さんのお役にたてるよう日々精進しています。ぜひ、声をかけていただけたらと思います。

医事係 古川 翔太

# 医療安全管理室より

## 「転倒・転落事故を減らしたい!」

作業療法士 真下 綾香

65歳以上の高齢者において転倒発生率は年間10～20%であり、そのうちの10%は骨折に至ると言われています。転倒を経験すると心理面に強い影響を受け、自分から動くことが少なくなり、それに伴って様々な健康被害を招くとされています。転倒は、歩行やトイレ時の車椅子への移乗や段差を超える時、床のものを拾おうとした時など日常生活の何気ない動作中に発生することが多く、その要因として、環境的要因と個人の身体的状況による要因が挙げられます。

具体的に、環境的要因としては、①コード類が多く、床に物が散らかっている。②家の中ではスリッパや靴下を使用している。③椅子の背などしっかりと固定されていないものにつかまって立ち上がることがある、などがあります。また、身体的要因としては、①つまずくことが多い。②思い立ったらすぐに動いてしまう。③立ちくらみや、ふらつくこ

とがある、などがあります。

これらの要因に対して、環境面では手すりの活用、足元・手元灯などで明るさを調節したり、スリッパや靴下を着用する場合はすべり止めがついているものを選ぶなどの工夫があります。身体面に対して、急な動作によってバランスを崩したり、起立性低血圧※が起こりふらつく原因の一つでもあります。ゆっくり確実に動作を行うような心がけが必要です。

身の周りにつまずきやすい要素はたくさん潜んでいます。皆さんと一緒に注意しながら転倒・転落事故を減らしていきたいと思います。

(※安静臥床後、起立した際に血圧の急激な低下が見られるものをいう。)



## お知らせ

### 院内講演会のお知らせ

当院では、医療関係者を対象に、下記要領にて学術講演会を開催いたします。

- 日時：平成23年2月24日(木) 18:30～20:10
- 場所：国立病院機構甲府病院 4階 大会議室
- 講演内容
  - ・一般演題
    - 「当院におけるグラクティブの使用経験」
    - 国立病院機構甲府病院
    - 内科医長 黒澤 理恵 先生
  - ・特別講演
    - 座長 国立病院機構甲府病院
    - 内科医長 黒澤 理恵 先生
    - 「糖尿病治療の最新線—
    - インクレチン関連薬と膵β細胞機能保護」
    - 杏林大学医学部第三内科
    - 主任教授 石田 均 先生

### 重症心身障害病棟 作品展示月間のお知らせ

重症心身障害病棟では、3月に作品展示月間を予定しています。日常の病棟生活で思っていること・感じていることなどを詩で表現したり、芸術作品を作成したり、皆で3月の作品展示に向け頑張っています。どうぞ重症心身障害病棟の作品をご覧ください。

- 場 所：正面玄関ロビー右側及び重症心身障害病棟エレベーターホール
- 期 間：平成23年3月31日(木)～6月30日(木)



## 平成22年度一日平均患者数

### 入院

※1月分及び年間累計は1月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		99.9	91.6	89.0	94.5	105.3	101.4	87.4	96.4	106.7	102.4			97.5
重心		121.1	120.5	121.5	122.5	122.8	120.9	118.8	118.3	119.3	120.5			120.6
計		220.9	212.2	210.5	217.1	228.1	222.3	206.2	214.7	225.9	222.9			218.1

### 外来

※1月分及び年間累計は1月末日現在(小数点以下第2位は四捨五入)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	257.8	273.8	252.9	252.8	252.4	261.9	255.0	261.3	279.8	269.3			261.2

# 外来医師担当表

平成23年2月1日現在

		月	火	水	木	金	
一階 診察室	内科	1	渡 邊	10時~ 渡邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊
		2	黒 澤	黒 澤	黒 澤	呼吸器科 菱山	黒 澤
		3	川 口	循環器科 佐野		中 尾	太 田
		4	循環器科 葉袋	古 屋	古 屋	循環器科 葉袋	循環器科 葉袋
		5					
特殊外来 午後3時~			渡 邊				
二階 診察室	外科	1	鈴 木	牧	角 田	鈴 木	牧
		2	浅 川			乳腺外来 高橋	肝臓外来 鈴木
	消化器科	1		稲 岡	稲 岡		
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野	渡 邊	渡 邊	萩 野	萩 野	
	2	千 賀	落 合	落 合	落 合	千 賀	
	3						
二階 診察室	二階検査室	内 視 鏡	稲 岡	大学医師	大学医師	澤 田	浅 川
	工 口	午前	大学医師		腹部 検査科 葉袋		腹部 検査科
二階 診察室	小児科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富
		専門外来1 (午後)	神 經 畑	神 經 中村	神 經 神谷	第1・3週 小野	代 謝 内田
専門外来2 (午後)		フォロアップ 久富	フォロアップ 久富				
脳神経外科(2階旧泌尿器科外来)		長 沼		長 沼	長 沼	長 沼	
泌尿器科			大学医師 (予約のみ)				
二階 診察室	産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	高 木	雨 宮	滝 澤
		2	雨 宮	高 木	第1・3週 雨宮 第2・4・5週 滝澤	滝 澤	高 木
		3	妊健 助産師外来			妊健 助産師外来	
眼科		予約のみ 10時迄 地場	地 場	地 場		地 場	
耳鼻咽喉科					矢 崎		

- 受付時間 初診/午前8時30分~午前11時00分 再診/午前8時20分~午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
- 予防接種(小児科) 毎週木曜日(完全予約制)
- 乳児健診 毎週 火・金曜日(完全予約制)
- 毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師
- 人間ドック 毎週 火・木曜日 脳ドック 毎週 月・火曜日午後

## 特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週木曜日の午前中に行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「肝臓専門外来」については、毎週金曜日の午前中に行っています。近親者に肝炎の方がいらっしゃるなど自分も肝炎にかかっているのでは、とご心配な方、健康診断で肝機能障害を指摘された方などは受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。認知症かな、と思ったら、受診されることをお勧めします。

## ◇平成23年度 看護職員採用について◇

- ・平成23年度の看護師、助産師採用の受付を随時行っています。
- ・現在看護学校等で勉学中の方、既に免許をお持ちの方も下記連絡先までご連絡下さい。

連絡先 国立病院機構甲府病院 看護部  
副看護部長 白川 由起子  
TEL: 055-253-6131 FAX: 055-251-5597

### 編集後記

昨年末から児童福祉施設ヘラントセルなどを送るタイガーマスク運動が全国に広がっている。きっかけがあれば善意の寄付をする人が大勢いることを知って心温まる。  
病院というところに勤務していると、ちょっとした手助けをしてあげればという場面が多くある。自分からきっかけを作れば後に続く人が出てくるかもしれない。  
まずは行動する勇気を持ちたいものである。(F.M)